

- ・ 森ビル株式会社は新たな不動産の開発における省エネ・CO2排出削減や自然エネルギーの導入を進めており、建物の低炭素化と付加価値の向上を両立させ、気候変動問題の解決に資する物件を創出していくため、空調・換気、照明、給湯、昇降機等の総合的な視点で省エネ性能の向上に取り組んでいます。
- ・ こうした取り組みにより、まち利用者の満足度や生産性を向上させ、事業の付加価値を高めることで、炭素生産性の向上を図ってまいります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年6月～2025年3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性をそれぞれ、麻布台ヒルズA街区にて387.1%、麻布台ヒルズB-2街区にて799.6%、虎ノ門ヒルズステーションタワー（A-1街区）にて409.1%向上させることを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

麻布台ヒルズA街区・B-2街区、虎ノ門ヒルズステーションタワー（A-1街区）それぞれにおいて、空調・換気、照明、給湯及び昇降機設備等を高効率なものとする事で、各街区の炭素生産性を向上させます。

4. 支援措置

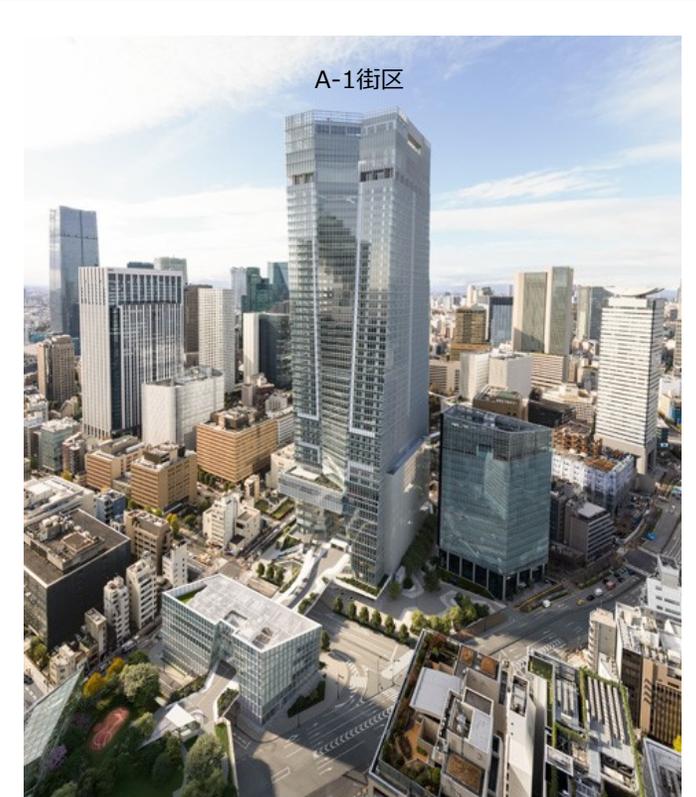
税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<事業適応計画の対象となる各街区のイメージ>



©DBOX for Mori Building Co., Ltd.

麻布台ヒルズA街区・B-2街区



©DBOX for Mori Building Co., Ltd.

虎ノ門ヒルズステーションタワー（A-1街区）